



公益社団法人 全日本不動産協会新潟県本部
公益社団法人 不動産保証協会新潟県本部
一般社団法人 全国不動産協会新潟県本部
本部長 高木 剛俊

皆様、明けましておめでとうございます。

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

総務省の発表によれば令和5年10月現在、全国の総住宅数が6502万戸であるところ、空き家の数900万戸、総住宅数に対する割合（空き家率）13.8%に達しています。空き家数も空き家率もいずれも一貫して増加が続いており、20年前と比較すると、空き家数で1.4倍、空き家率で約1.6ポイント上昇しました。

空き家対策が社会的な課題となるなか、宅地建物取引業法においても空き家の流通促進の観点から令和6年7月に宅地建物取引業者が受け取ることのできる報酬の額の一部改正（媒介報酬規制の特例）がありました。報酬規程の改正を転機として、今後はより積極的な空き家の流通促進が期待されています。

当協会では令和4年に会員向け業務支援ポータルサイト「ラビーネット」を大幅にリニューアルし、新たに物件情報システム「ラビーネットBB」が誕生しました。全日会員はもとより、これから不動産業を開業する方に新ラビーネットは優秀な秘書が一人いるような強い味方になることでしょう。

また、入会手続等の電子申請システムなど各種のデジタルソリューションによって、社会に向けてさまざまな価値を提供しておりますが、その根本にあるのは常に「人と人をつなぐ」という不動産業の本質を見据えた取り組みです。

そうした理念のもと当協会では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博のメインアトラクション「大阪ヘルスケアパビリオン」にスペシャルパートナーとして協賛しています。

未来のまちづくりや住まいのあり方、そして少子高齢化社会において我々不動産事業者が地域社会に果たす役割など、未来社会の礎となるような公益性の高い研究成果を披露すべく取り組んでおります。

新潟県の不動産市場は、今後も多くの可能性を秘めています。私たち全日本不動産協会新潟県本部は、地域の皆様と共に歩み、信頼されるパートナーとしての役割を果たしていく所存です。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。



Osaka
Healthcare
Pavilion
Nest for Reborn



ZENNICHI

公益社団法人 全日本不動産協会

公益社団法人 全日本不動産協会は、
2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
「大阪ヘルスケアパビリオン」の
スペシャルパートナーです。

大阪・関西万博 特設サイト

<https://osakahonbu.zennichi.or.jp/expo/>